

平成18年12月20日

外務大臣 麻生太郎様

### 米軍航空機の放射性物質使用についての質問

在日米軍横田基地が所在する周辺の立川市、昭島市、福生市、武蔵村山市、羽村市及び瑞穂町は、横田基地周辺市町基地対策連絡会を組織し、安全で快適な生活環境を求める住民要望に応えるべく、基地に起因する諸問題の解決に努めております。

横田基地は市街地に所在し、在日米軍第374空輸航空団が管理する輸送基地で、常駐する航空機はC-130、UH-1N(ヘリコプター)及びC-21ですが、横田基地には在日米軍司令部及び第5空軍司令部も配置されていることから、FA-18をはじめ多くの軍用機(別紙)が飛来し、市街地上空を飛行しております。

また、平成16年及び平成17年には横田基地所属のUH-1N(ヘリコプター)が緊急着陸するという事故が4回も発生しました。

このようななか、平成18年11月8日の沖縄タイムスによると、C-130輸送機など米軍機の各種部品に放射性物質(劣化ウラン)が使用されているとの報道がなされております。

報道が事実だとすると、横田基地周辺の住民は、米軍機が市街地上空を飛行することによる騒音被害やいつ墜落するかわからない危険性に加え、新たに放射性物質に対する不安も抱えることとなります。

このため、横田基地の運用に当たっては、周辺住民の安全確保を徹底し、不安を与えることのないよう万全の措置を講ずるよう強く求めるとともに、次の事項についての調査及び回答を求めます。

1 米軍機の部品に劣化ウランが使用されているとの報道についての事実確認

2 使用されている場合

部品に放射性物質を使用している機種名及び放射性物質の

種類

放射性物質の身体への影響

放射性物質の漏洩防止方法

放射性物質を使用した米軍機が市街地上空を飛行することについての見解

3 使用されていない場合

使用されていないという理由、根拠

横田基地周辺市町基地対策連絡会構成市町長

立川市長 青木 久

昭島市長 北川 穰一

福生市長 野澤 久人

武蔵村山市長 荒井 三男

羽村市長 並木 心

瑞穂町長 石塚幸右衛門

幹事 福生市長 野澤 久人

横田基地に飛来する主な航空機

C - 5、C - 17、KC - 10、KC - 135、EA - 6B、E - 2C、  
C - 2A、F - 15、F - 16、FA - 18、SH - 60